

1 申請者情報

フリガナ	ケンヒロ タロウ	学籍番号	2601234
申請者氏名 (自署で記入)	県広 太郎	学年	1年
学部・研究科	地域創生学部	学科・課程 専攻	地域創生学科
入学年月	2026 年	☒ 春入学	☐ 秋入学
申請者住所	〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号		
自 電 話 番 号	(082)251-5178	携 帯 電 話 番 号	090-1234-5678
生計維持者① 氏名	県広 次郎	本人との続柄	父
生計維持者① 住所	〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地		
生計維持者② 氏名	県広 花子	本人との続柄	母
生計維持者② 住所	〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地		
多子世帯	☐ 該当する	☒ 該当しない	

休学・留学歴のある場合 ※該当者のみ記入	
長期履修制度を利用している 場合 ※該当者のみ記入	2026 年 4 月 1 日 ~ 2028 年 3 月 31 日

2 希望する制度及び期間

授業料減免	☒ 前期(4月~9月)	☐ 後期(10月~3月)
授業料 徴収猶予	☒ 前期分徴収猶予日: ~ 2027 年 2 月 28 日	
	☐ 後期分徴収猶予日: ~ 年 月 日	

※希望者のみ
減免に申請し、採用となった場合、前期授業料の納期限は、2026年6月1日(月)です。この期限に納付が困難である方は、徴収猶予もあわせて申請してください。

3 理由

申請理由を具体的にわかりやすくご記入ください(家計状況や家族状況等)

(例)
私が本制度を必要とする理由は、家庭の経済的状況が厳しいためです。父が病気で長期間の治療を続けており、安定した収入を得ることが難しくなっています。そのため世帯収入は大幅に減少し、医療費の負担も重く、学費に充てる余裕がありません。私自身も親から十分な援助を受けることができない状況にあります。
学費および生活費確保のための自助努力として、日本学生支援機構の奨学金を4月から月額3万円受給しています。また、週3日程度アルバイトを行い、月に約5万円の収入を得ていますが、生活費で大部分が消えてしまい、学費の負担は困難です。

制度を利用しなければならない「①経済的な理由」及び「②学費及び生活費を確保するための自助努力」について、具体的に記入してください。
【例】① 経済的理由
家庭の収入が少ない、兄弟が多い、家族の病気・障害・介護が理由でお金がかかる
親から生活費・学費の援助がない、親が働けなくなった
※ローン等の自己都合によるものは、授業料減免の審査において考慮されません。
例)住宅ローンの返済、自動車学校や公務員予備校等への通学、留学等
② 学費及び生活費を確保するための自助努力
日本学生支援機構や民間等の奨学金(いつから、月いくら受給している)※これから申請予定でも可
アルバイトの頻度(週〇日)及び月の収入金額
※学部1年生は現在、自助努力がない場合でも、今後の予定を記載してください。

2025年1月以降に
家計急変があった
方のみ入力してく
ださい。

4 家計急変状況 ※該当者のみ記入

生計維持者の一方(又は両方)が死亡、事故又は病気により、半年以上、就労が困難又は失職(非自発的失業の場合に限る)した場合	事由発生日： 2026 年 3 月 1 日				
	対象となる生計維持者:	☒	父	☐	母
生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合	被災日： 年 月 日				